



公私共に充実の時間を過ごせる環境づくり

株式会社村上工務店

神戸市では、ワーク・ライフ・バランス等の取り組みが進んでいる事業所を「こうべ男女いきいき事業所」として表彰しています。今回は、平成27年度に「こうべ男女いきいき事業所」を受賞された株式会社村上工務店を訪ねました。同社は、年次有給休暇について年6日の取得を義務化するなどワーク・ライフ・バランスの推進に努めるとともに、部署を超えたチームでの勉強会の実施や資格取得の支援など、生涯働くことのできる職場環境づくりを進めています。

女性がいつまでも活躍できるように

昭和23年の創立以来、新築工事からリフォーム、マンションの大規模改修まで、建物に関する全ての要望に応えてきた同社。顧客満足度を高めるための真摯な仕事の中で、業種柄どうしても繁忙期が発生します。特に現場担当者はいったん工事が始まってしまうと、なかなかまとまった休みが取れません。そこで、平成26年9月から年次有給休暇について年6日の取得を義務付けました。

「年に1回、工事と工事の間を見計らって1週間程度の連休を取り、旅行に行くようにしています」と話すのは、リノベーション部の石野由佳さんです。義務化されるまでは、有給休暇を取る機会が少なかったとのこと。休み明けは気持ちも新たに仕事に向かうことができるそうです。

石野さんが所属するリノベーション部は、個人宅のリフォームをはじめ事業所や工場の改装など、新築以外のあらゆる工事を手掛けています。平成19年、現場を担当する部署に初めての女性社員として、石野さんが配属されました。その後、今では同じ部署にもう1人、新築工事を担当する工務部に1人女性が在籍しており、さらに今春入社した女性社員2人も現場担当部署に配属される予定です。

また、女性がいつまでも働き続けることができるよう、家庭との両立支援制度を整備。育児休業から復帰した後は2時間短時間勤務ができる環境があります。お子さんの急な病気にも対応できるようにチームワークを意識し、皆で取り組んでいます。育児休業のみならず介護休業も設けています。



マーガリン工場の改装現場で従事する石野さん(右)



石野さんが所属するリノベーション部の皆さん(一部)

向上心を奨励し皆で学び合う職場に

63人の社員のうち、一級建築士の資格を持っている人は18人。一級建築施工管理技士は28人、一級土木施工管理技士は5人と有資格者が多く、さらなるキャリアアップのために各自が自己啓発に取り組んでいます。会社として資格取得を目的とした講座の受講費用の一部を補助。絶えず上を目指す姿勢を推奨しています。

また、部署の垣根を超えた勉強会があります。全社員が10チームに分かれ、各チーム1年間、月に1度のペースで集まり、自由なテーマ、自由なスタイルで勉強会を開催しています。石野さんのチームは毎回メンバーの一人が講師となり、自分の得意分野を他のメンバーにレクチャーする形を取っています。「ある人はCADの使い方、ある人は社会保険についてなどテーマはさまざま。いろいろな知識を得ることができるし、普段は全く会わない他部署の人と仲良くなれるので楽しいですよ」

そのほか、主任以上の社員が属する委員会として、安全衛生推進委員会、安全と安心委員会、顧客満足推進委員会、品質管理委員会など業務に関することに加え、理念と経営委員会と称する委員会があります。この中で毎月実施しているのが「理想の職員」選び。「真面目な人」「今、頑張っている人」などをテーマに全社員にアンケートを取り、一番多くの人に選ばれた社員を理想の職員として表彰しています。

皆が積極的に生き生きと働き、プライベートでも充実した時間をすごせるよう、これからもさまざまな角度から支援をしていきます。



社内セミナーは部署間交流の場でもあります。